



新年度愛知県予算成立へ

2月定例県議会閉会へ



3月6日議案質疑に立ち、新年度あいち国際戦略プランに基づき進められるタイ・バンコクとの国際交流について、旧平和町時代からボランティア団体がやっている使節団受入事業や愛・地球博の一市町村一國フレンドシップ事業などを例に民間交流を含めた県の総合力としての取組を質しました。



愛知県議会2月定例会は知事提出の平成26年度予算関係や初の民間からの副知事登用の人事案件などの議案を全会一致で可決・同意し3月25日に閉会の見通しです。

また、議会側からは一般職員の給与抑制の解除に伴い議員の報酬の削減率も11%から5%に緩和するほか、1増(日進市及び愛知郡)2減(北区、西尾市)の議員定数の改正、民主からは「労働者の安定した雇用の確保及び処遇の改善について」や「手話言語法(仮称)の早期制定について」の意見書案を提出しています。

3月11日には、25年度関係の議案につき採決しましたが、本会議冒頭、東日本大震災の発災から3年を迎え黙とうを捧げました。26年度予算は、一般会計2兆3,619億円と地方消費税の影響もあり今年度より1,335億円の増、特別会計、企業会計を合わせた額は3兆3,573億円に上ります。

新年度は、いなざわ特別支援学校の開校に始まり、5月から始まるミラノ国際博覧会にてなごやめし等のPR(夏頃?)、9月には知事がタイ政府・バンコク都知事との会談等で戦略的に交流を図り、11月にはESDユネスコ世界会議、技能五輪・アビリンピックの開催、稲沢市では新市民病院の開院と今までの取組が実を結ぶ年となります。また、稲沢市当初予算には年末の市長選挙費として4,470万円が計上されており、年明けには2月の知事選、4月の県議選、9月の市議選と選挙の年の始まりでもあります。

県当初予算の稲沢市関係(単位:億円)

- 【健康福祉部】
 - 子育て支援対策基金事業費(1件)0.31
 - 老人福祉施設設置費補助金(1件)0.68
 - 障害者施設設置費補助金(2件)1.03
 - 医療施設耐震化支援基金事業費補助金(1件)8.05等
- 【産業労働部関係】
 - 商工会議所会館建設費補助金 0.10
 - 産業空洞化対策減税基金事業(4件)等々々です。



●新市民病院開院にあわせて

コミュニティバスの路線拡大...約0.65億円(拡充 市長公室)



【稲沢市の新規事業等は次項へ】

新市民病院がスタートする11月から7路線に拡大。利用者の多い路線①アビタ稲沢店～市役所～国府宮駅～市民病院～JR稲沢駅西口には中型バスを導入、以下はワゴンタイプ車両で②ふれあいの郷～市役所～国府宮駅～市民病院、③地泉院前～市役所～国府宮駅～市民病院、④下津市民センター～市民病院～大里東市民センター、⑤大里西市民センター～トップモール～市民病院～国府宮駅、⑥勝幡駅～千代田市民センター～国府宮駅～市民病院、⑦勝幡駅～平和支所・らくらくプラザ～市役所の6路線を運行予定。

(左図も路線図案です)

STEP 21 県政 REPORT



2014愛知環境賞で
ユニー株式会社(稲沢市)が
「食品リサイクルループは命をつなぐ環」
で銀賞を受賞されました。



■新市民病院 11 月開院・・・稲沢市の新年度予算

稲沢市の新年度予算は、一般会計は前年度比 13%増で過去最大の 459 億 3 千万円、8特別会計 251 億 8 千万円、3企業会計 221 億 3 千万円を計上、総額 932 億 4 千万円です。新市民病院の整備事業には最大の 57 億円(内医療機器等 34 億円)、関連する病院北の防災機能を有する文化の丘公園整備に 3 億円、周辺道路整備に 1 億円を投入します。

歳入の市民税は対前年度 3.4%増の 91 億円、市税合計 207 億円、地方交付税 40 億円、国庫支出金 53 億円、県支出金 27 億円、市債 48 億円等。歳出は扶助費・人件費・公債費の義務的経費が 211 億円(45.84%)。以下は新規(拡充)施策等の抜粋です。

●防犯カメラの設置に補助・・・約 0.02 億円(新規 総務部)

地域の安全のために防犯カメラを設置する行政区に対し、補助対象経費の 1/2(限度額 50 万円)を補助。



●いなっぴーご当地ナンバープレート・・・約 0.02 億円(新規 総務部)

原動機付自転車(ミニバイク)に交付する課税標識(ナンバープレート)にいなっぴーデザイン

●放課後児童クラブにいなっぴールーム等・・・約 0.78 億円(福祉保健部)

法改正の 27 年に先行、小学校の教室等を活用し小学 6 年生まで受入れを拡大するいなっぴールームを開設(稲東・坂田・下津・大里東・小正小)、稲西さざんか第 1、2 ほかで障がい児受入事業。片原一色保育園で乳幼児保育等のためにリニューアル工事。

●子ども医療費の助成拡大・・・約 6.16 億円(福祉保健部)

中学生の通院医療費の保険診療分の自己負担分の 3 割を 1 割に、2 割分は償還払いで助成。

●市内企業の再投資に対し補助等・・・約 2.34 億円(新規 経済環境部)

県メニューの 21 世紀高度先端産業立地補助、市内に 20 年以上立地する企業への新あいち創造産業立地補助に連携して稲沢市も新たに対応。

●段階的耐震改修や耐震シェルターにも補助・・・0.03 億円(新規 建設部)

県が 25 年度から拡充した民間木造住宅耐震化事業に稲沢市も新たに対応。比較的安価な費用で対応可能な段階的改修(限度額 60 万円)や耐震シェルターの整備(同 30 万円)にも補助制度新設。

●都市防災総合推進事業・・・約 1.10 億円(新規 総務部)

今年度から 30 年度までの社会資本総合整備計画(総事業費 5.04 億円)に基づき防災情報通信ネットワークや地区公共施設の整備、防災マップの作成等。

●発達障がい児等の支援・・・約 0.49 億円(教育委員会)

通常学級での発達障がい児等の支援のため在籍している特別支援教育支援員を 64 人から 71 人に増員。

●民間温水プールを低料金で・・・0.05 億円(教育委員会)

市民プール等の開放停止の代替で名鉄いなす、NAS 稲沢の開放日(月 1~4 回)に補助対象経費の 3/4 を補助。

■4月開校のいなざわ特別支援学校



■11月開院に向け工事が進む新市民病院



■病院北側の文化の丘公園完成予想図



新市民病院建設総事業費(単位:億円)

土地購入費	20.79	【財源内訳】
工事費等	80.05	一般会計繰入
医療機器等	34.00	46.18
移転費用等	1.70	企業債
解体工事費	10.00	83.81
合計	146.54	国県支出金
		16.55

■工事が進む日光川に架かる西光橋



イベント

3月27日愛知県屋外広告物審議会

4月5日第20回へいわさくらまつり

6日稲沢市消防団任命式

7日いなざわ特別支援学校入学式

13日ボーイスカウト愛知連盟尾張西地区協議会総会

STEP 21



新市建設計画の祖父江との東西交流路線、南大通線を西進する光堂川を跨ぎ国道155号に至る工事等も実施中です。



県立高校で入学式からの教諭の暴言により 女子生徒がパニック障害等に陥り
現在も休んでいることが県議会で明らかに、関係した教諭の厳重処分と生徒の回復を願います。政治的中立云々より教育委員会制度の改善を考えざるを得ません。春 卒業生に幸多かれ！ 未来へつづくまちづくりへ 一生懸命動きます。愛知県議会議員 鈴木じゅん